



寄せ書きを受け取る佐藤のりゆき知事候補

STOP! 格差社会 青年選対ニュース

発行責任者
STOP! 格差社会青年選対
委員長 斉藤 信
札幌市中央区南1西5
愛生館ビル5F
TEL.011-222-3500
FAX.011-222-3527

職場・地域から声を！ 青年から行動を！
働くものの安心社会を実現しよう！

青年選対では、政治意識の高揚を図るため、全道14地区で総決起集会を開催し、18産別413人が結集しました。

総決起集会では、北海道知事候補の佐藤のりゆきさんをはじめ、地元議員や候補と意見交換を行い、政治に対する「難しい」というイメージの払拭と青年の生活・職場実態を議員に訴えてきました。

また、集会では佐藤のりゆきさんへの応援メッセージとして『寄せ書き』を取り組み、3月24日の札幌地区総決起集会で斉藤委員長から手渡しました。

青年の不安・不満を集約

各地区総決起集会では、「誰がやっても変わらない」というアクラメの気分が出される中、何もしなければ私たちの生活・職場は悪くなる一方であることを確認し、参加者の不満や不安を集約しました。

青年層の賃金は低い！

全道庁や北教組の仲間からは「ずっと賃金削減を受けているため、正規の賃金を受け取ったことがない」「採用4年目で奨学金返済もあり、自由に使えるお金が2万円しかない」といっ

た道独自削減に対する不満や厳しい生活実態が出されました。また、全体的に青年層の賃金が低く抑えられている中、JR総連の仲間からは「配偶者が仕事をやめて生活がキツくなった。共働きでないと厳しい。これから子どもを出産を考えると、さらに苦しくなる」といった将来に対する不安が出され、私鉄総連の仲間からは「残業をしないと生活が成り立たないため、疲れを残しながら勤務を続けている」など、身を削って働く仲間の実態が出されました。

<各地区総決起集会結果>

3月11日	苫小牧地区	30人
14日	渡島檜山	35人
15日	釧路地区	25人
16日	小樽地区	24人
16日	名寄地区	47人
17日	岩見沢地区	45人
18日	室蘭地区	36人
19日	浜頓別地区	16人
20日	中標津地区	16人
20日	斜里地区	37人
21日	網走地協	15人
23日	稚内地区	17人
23日	日高地協	31人
24日	札幌地区	39人
		合計 413人

職場は人員不足

多くの職場では人員不足が共通する課題として出されています。基幹労連の間からは「人員が足りず、工場毎の仕事量に偏りがある。そのため技術力の低下、各々の仕事に対するモチベーションが下がっている」、全国ガスの仲間からは「人員が少なく、過密なスケジュールであるため、時間外労働をせざるを得ない状態となっている。さらに、時間外手当も一部のみの支給では、労働意欲がわくわけがない」など、人員不足が技術力の低下とモチベーションの低下につながっていることが出されています。

若年層にしわ寄せ

人員不足による職場の変化は、若年層や非正規労働者など、立場の弱い労働者にしわ寄せが来ていることが明らかになりました。林野労組の仲間からは「全体的に要員が足りていない。賃金は年齢に応じて上がる



3.24 青年選対札幌地区総決起集会

一方で若年層に思い責任と負担が強いとされている。運輸労連の仲間からは「ドライバーが不足し、若手に負担がかかっている。また、非正規社員で穴埋めが行われている」、北労金の仲間からは「同じ仕事をしているのに正職員と臨時職員に賃金格差がある」などの声が出され、JAMの仲間からは「若者を使い捨てする企業が多すぎる。これでは人材が育つわけがない」といった憤りの声も出されています。時間外手当の低い青年が配置される職場は、時間外労働のある職場であることが多くなっています。

人員は減、仕事は増

人員は減る一方で仕事が増えていることも出されています。全水道の仲間からは「技術が必要とする職場であり、専門の知識が求められるが、職員が少ないため、一人当たりの仕事量が増えている」、自治労の仲間からは「地域の実情を考慮しない国の制度の押しつけによって業務が圧迫している。住民から求められていることや新たなことに挑戦できる環境ではない」、高齢化社会が進む中、医療制度や社会福祉の拡充が自治体職場に求められてくる反面、地方の人口減少や交付金削減を背景とした予算減少に直面している。北教組の仲間からは「勤務時間内では追いつかないほど仕事量が増えている。しかもそれは子どもへの授業や研究の時間ではなく、国や道からの調査や学力テスト、学力向上のための取り組みに関わるものとなっている」などの実態が出され、全開発の仲間からは「人員削減が毎年行

われ、残業をしなければ仕事が終わらない。多いところでは月100時間以上やっている職場もあり、30〜40代で亡くなる仲間も点在している」と身を削りながら働かされているだけではなく、生命さえも奪われている実態が出されました。

流れを変えよう!

こうした多くの仲間が今の職場に不満を持ち、将来に対して不安を持っていることが明らかになりました。

この実態を作り出している最大の原因は、大企業優遇の政策によって景気回復を図ろうとする政治であり、企業は大幅な収益を上げている一方で、私たち労働者への還元はされていませんし、大企業が集中する都市と地方との格差は拡大するばかりです。

こうした流れを変えるためには、職場・地域から声を上げ、行動していくしかありません。自分の一票、仲間の一票で私たちの思いを示しましょう!

知事候補遊説日程

- 3月30日(月) 胆振・日高
- 31日(火) 十勝
- 4月 1日(水) 釧根
- 2日(木) 網走
- 3日(金) 上川
- 4日(土) 札幌
- 5日(日) 札幌
- 6日(月) 檜山・渡島
- 7日(火) 渡島・胆振
- 8日(水) 札幌・石狩
- 9日(木) 空知
- 10日(金) 札幌・石狩
- 11日(土) 札幌
- 12日(日) 投票日

※予定であり変更になる場合もあります

投票に行こう! 期日前投票を呼びかけよう!